



# 三原市本郷人権文化センターだより

発行／三原市人権推進課  
 編集／三原市本郷人権文化センター  
 所在地／三原市本郷北3丁目16番10号  
 電話／0848-86-3333  
 FAX／0848-86-3407

## 2023(令和5)年度 主催講座の受講生を募集します(各教室とも若干名)

講座名	開催月・曜日・時間	講師	内容
生花教室 (閑澗流)	第1金曜日 10:00~12:00 4~12月(8月を除く)	有田 千代子さん	閑澗流の「現代花」は、伝統的ないけばなを大切にしながら、新しい時代に即したスタイルです。
絵手紙教室	第3金曜日 13:30~15:30 4~12月(8月を除く)	児玉 純子さん	ハガキや色紙に自分の心を表現し、相手に伝えられるのが魅力です。
気功教室	第2金曜日 13:30~15:30 4~11月	木原 勲さん	体内の気を巡らせ、心身のバランスをとる健康法を学びます。
郷土料理教室A	第2水曜日 10:00~13:00 4~12月までの偶数月	大橋 典子さん	健康づくりをメインにした料理教室です。旬の食材について、クイズをしながら学びます。
郷土料理教室B	第2水曜日 10:00~13:00 5~1月までの奇数月		
男性料理教室	第4水曜日 10:00~13:00 4~12月までの偶数月		
識字教室A	毎週火曜日 12:00~16:00	高井 二千六さん	新聞記事を題材に、読んで話すことの基礎を学びます。
識字教室B	毎週水曜日 12:30~16:30	齋尾 和望さん	簡単な計算や漢字の読み書きなども勉強します。
パソコン教室A	毎週火曜日 10:00~12:00	センター職員	初心者を対象とした教室です。Word, Excelを使って簡単な入力を個人のペースで行い、年賀状作成にも挑戦します。 ※パソコン(基本OSはWindowsでWord, Excelが使えるもの)をご持参ください。
パソコン教室B	毎週火曜日 13:30~15:30		
パソコン教室C	毎週木曜日 10:00~12:00		
パソコン教室D	毎週木曜日 13:30~15:30		



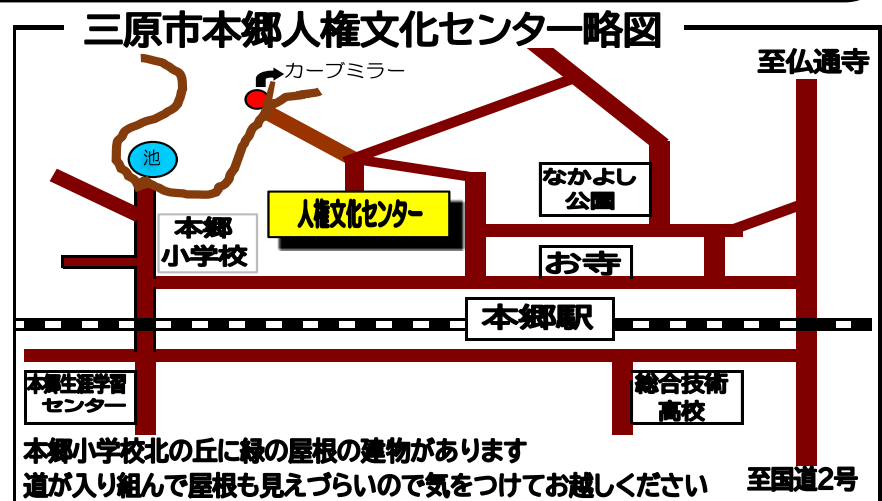
- 受付期間: 3月1日(水)~17日(金) 平日8時30分~17時15分まで
- 申込方法: 電話(86-3333)・FAX(86-3407), またはセンターへ直接申込んでください。
- 受講料: 無料(教材・材料費が必要な教室があります。)
- 申込みが定員を超えた場合は抽選とします。
- 講座ごとの準備物については、本郷人権文化センターまでお問い合わせください。

### 人権相談

人権侵害や差別などでお悩みの方は、人権相談員にご相談ください。相談は無料で秘密は守られます。気軽に相談してください。



- とき 土・日・祝日は除く 10時 ~ 16時
- ところ 三原市本郷人権文化センター
- 電話 0848-86-3333




# 人権のひろば



## 学ぶ！SDGs (持続可能な開発目標) (7)

SDGsは、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標として、2030年度を達成年限とし、17のゴール(目標)で構成されています。“人権ひろば”では、人権に関する目標を紹介していきます。



### 【目標6. 安全な水とトイレを世界中に】

世界の22億人が水道の設備がなく安全に管理された飲み水を使えない暮らしをしています。トイレがなく、道ばたや草むらなど屋外で用を足す人は6億7300万人です。

2030年までにすべての人が安全で安価な水を使えるようにすること、適切な方法による下水処理やごみ処理などの衛生設備が整った環境で暮らせることを目指すための目標です。

野外での排泄をなくすこと、下水や衛生設備について女性や女の子、最も弱い立場にある人々のニーズに特に注意を払うこともこの目標に含まれます。

また排水処理を通して水質を管理することや、今後深刻化している水不足に対し、水の再利用や利用効率の改善、コミュニティ参加による水資源管理や水に関する生態系の保護も目指しています。

私たちにできることは何でしょうか。たとえば、シャワーや蛇口を節水型に変えることでストレスなく水を節約することができます。水は浄水場や下水施設で処理したりするときなど多くの場面でエネルギーを使います。節水することでこれらのエネルギーも削減できればCO<sub>2</sub>の削減となり、地球温暖化防止につながります。

(出典:公益社団法人日本ユニセフ協会ホームページ「持続可能な世界 SDGs CLUB」)

## ★きょうは何の日? 3月 人権カレンダー

### 3月21日 国際人種差別撤廃デー

1960(昭和35)年3月21日、南アフリカで人種隔離政策(アパルトヘイト)反対を訴える平和的デモ行進に警官隊が発砲。69人が死亡しました。この事件が国連が人種差別に取り組む契機となり、1966(昭和41)年の国連総会で3月21日を「国際人種差別撤廃デー」とし、それから1週間を「人種差別主義と闘う人々との連帯週間」として、世界中で人種差別の撤廃を求める運動が展開されています。

国連は、2015年から2024年までの10年を「アフリカ系の人々のための国際の10年」とし、理解、正義、開発をテーマに、アフリカを起源とする人々の人権向上と擁護できるような有効な計画を実施しています。地球上でもっとも貧しく、もっとも社会から隔絶された層を構成していると言われるアフリカ系の人々の生活水準を向上させようとしています。